

## 1. 調査趣旨

本調査は、技能実習を修了し帰国した技能実習生について、帰国後の就職状況、職位の変化、日本で修得した技術・技能・知識の活用状況などを把握することにより、技能実習生の帰国後の実態を明らかにし、技能実習制度の適正・円滑な運用を図るための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査対象

技能実習2号を修了した技能実習生のうち、平成30年8月から11月までの間に帰国(予定を含む)した19,468人(中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン及びタイ)

## 3. 調査方法

- (1) 調査対象者の所属する監理団体及び企業単独型実習実施者に対し、対象人数分の母国語調査票を送付、本人への配付を依頼
- (2) 調査対象者は帰国後調査票に回答し、母国から郵送にて外国人技能実習機構調査事務局に調査票を返送
- (3) 回答は無記名、多肢選択方式(一部自由記述欄あり)

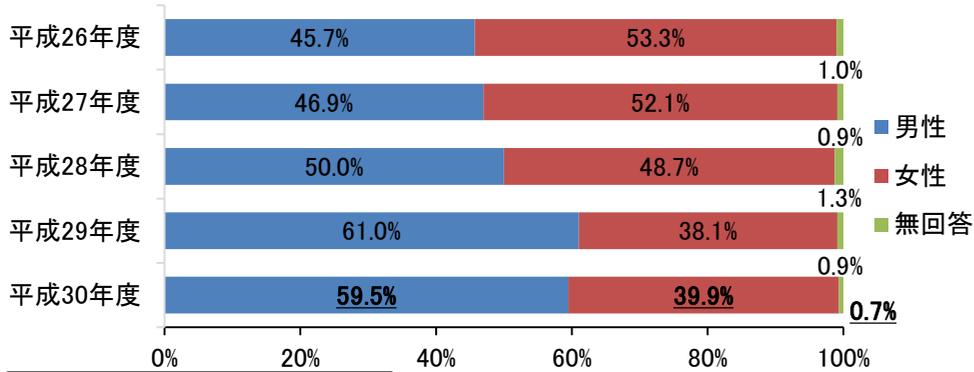
## 4. 有効回答数・回収率

調査対象数	有効回答数	回収率
19,468	5,257	27.0%

# 有効回答者の内訳

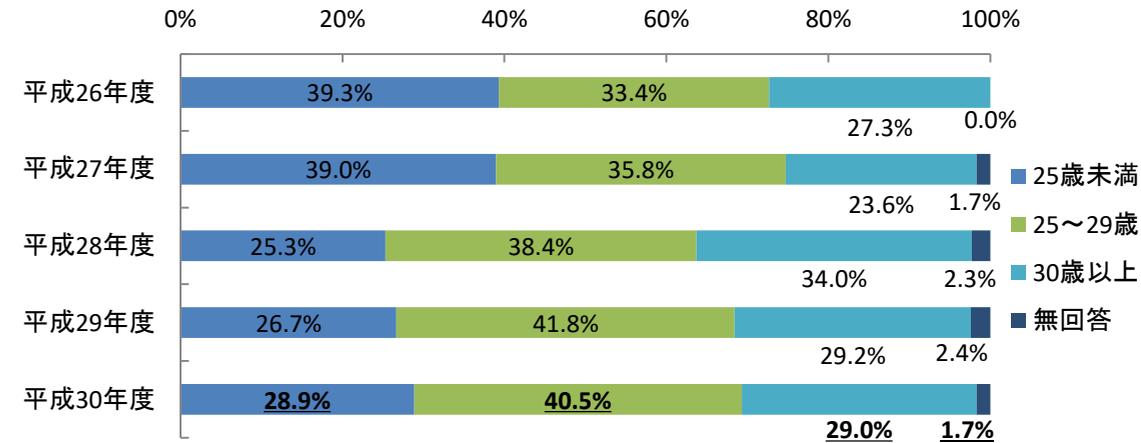
## 技能実習生の性別

「男性」が59.5%、「女性」が39.9%を占めている。



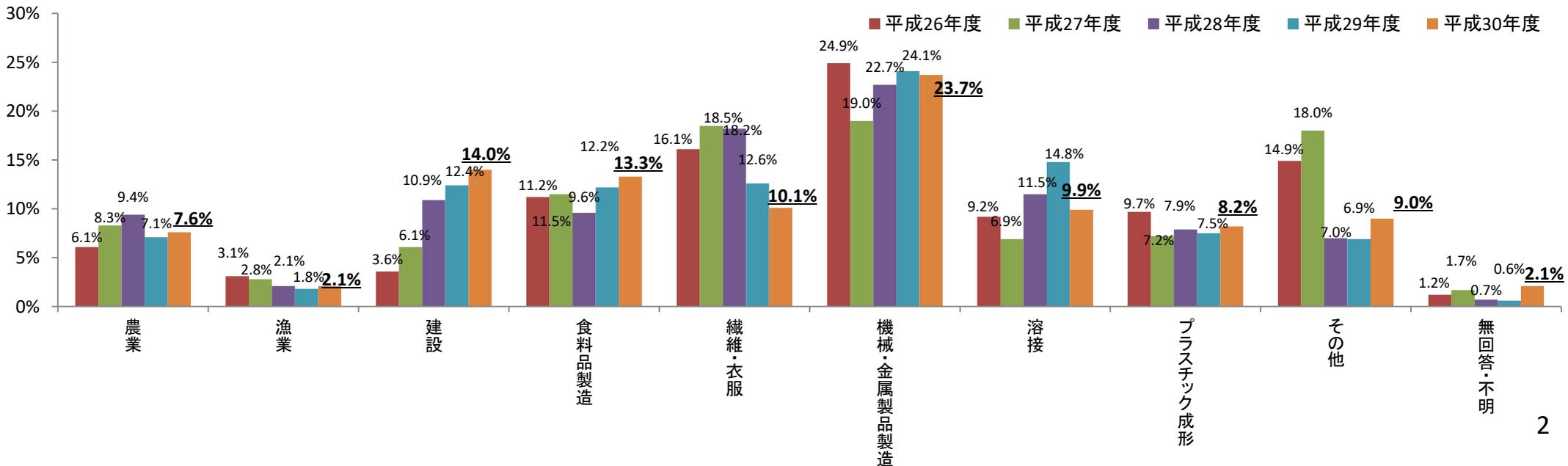
## 技能実習生の年齢

30歳未満が69.3%を占めている。



## 技能実習生の職種

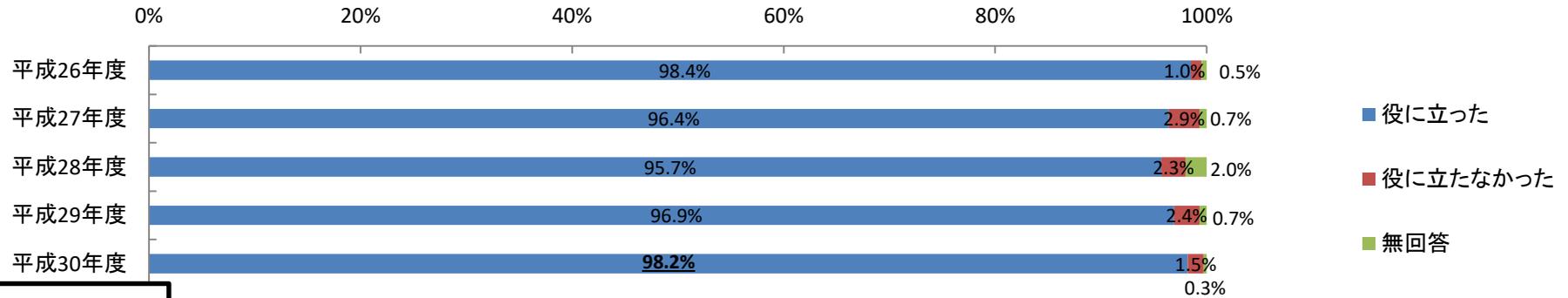
「機械・金属製品製造(23.7%)」、「建設(14.0%)」、「食料品製造(13.3%)」の順で多くなっている。



# 技能実習の効果

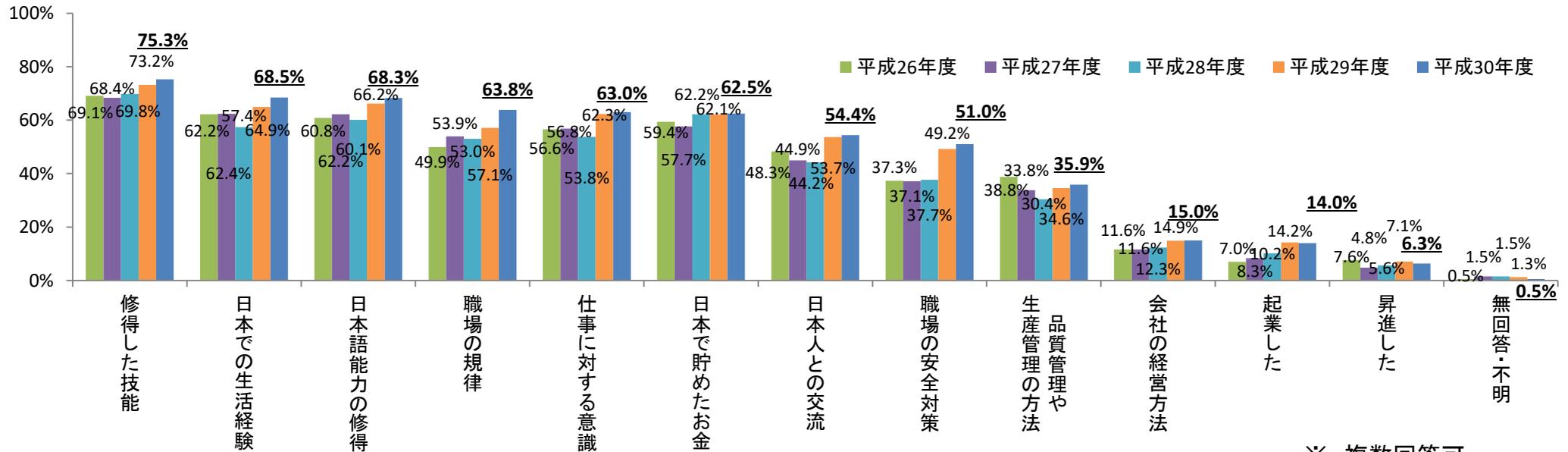
## 技能実習の効果

技能実習期間を通じて学んだことが「役に立った」と回答した人は98.2%となっている。



## 役に立った内容

役に立った具体的な内容は、「修得した技能」が75.3%と最も高く、「日本での生活経験」が68.5%、「日本語能力の修得」が68.3%と続く。



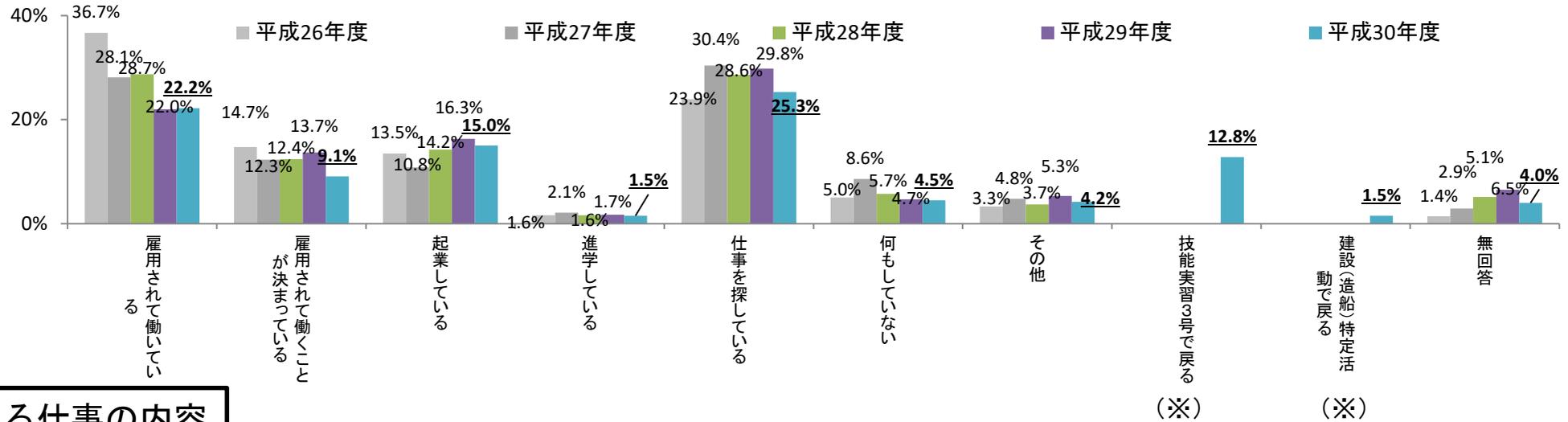
※ 複数回答可

# 帰国後の就職状況

## 帰国後の就職状況

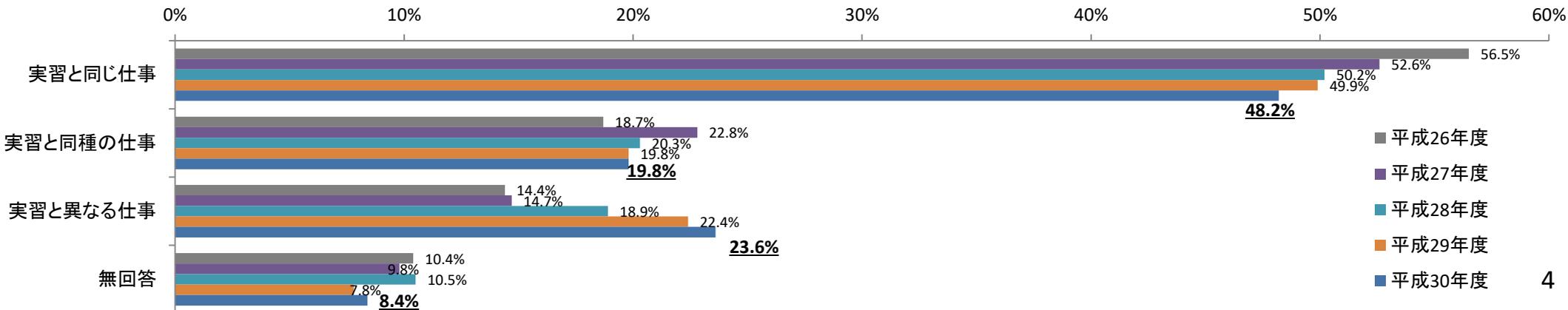
※「技能実習3号で戻る」及び「建設（造船）特定活動で戻る」は平成30年度から選択肢に追加。  
建設（造船）特定活動とは、建設（造船）分野の外国人材受入れのための緊急かつ時限的措置に係る在留資格。

帰国後の就職状況について「雇用されて働いている(22.2%)」、「雇用されて働くことが決まっている(9.1%)」または「起業している(15.0%)」と回答した人は46.2%となっている。また、帰国後「仕事を探している」と回答した人は25.3%となっている。なお、職種別の状況はP9のとおりである。



## 従事する仕事の内容

「雇用されて働いている」、「雇用されて働くことが決まっている」または「起業している」と回答した者のうち、従事する仕事の内容が「実習と同じ仕事(48.2%)」または「実習と同種の仕事(19.8%)」と回答した人は68.0%となっている。



# 保証金の有無等

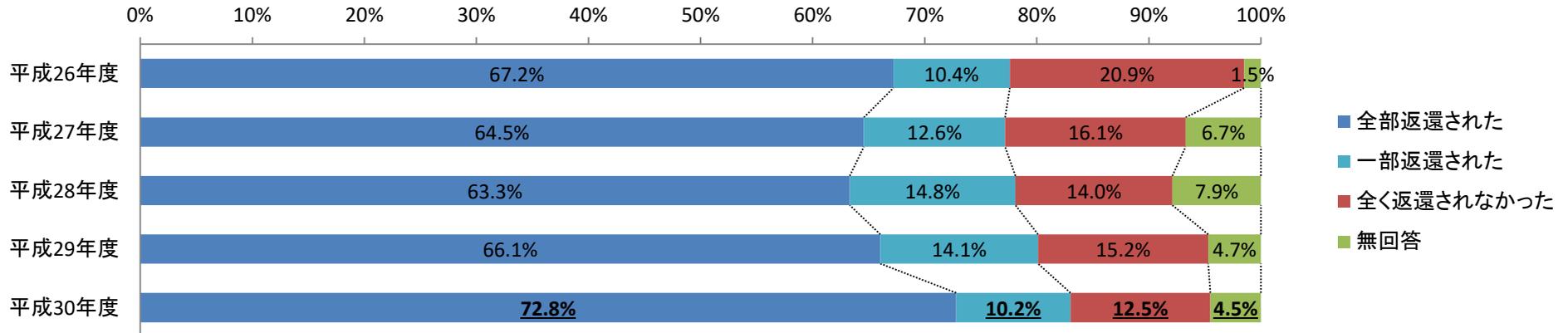
## 保証金等の有無

「保証金等はない」と回答した人は81.5%となっている。



## 保証金等の返還の有無

「保証金等を預けた」回答者に対し、返還状況について尋ねたところ、「全部返還された」と回答した人は72.8%となっている。

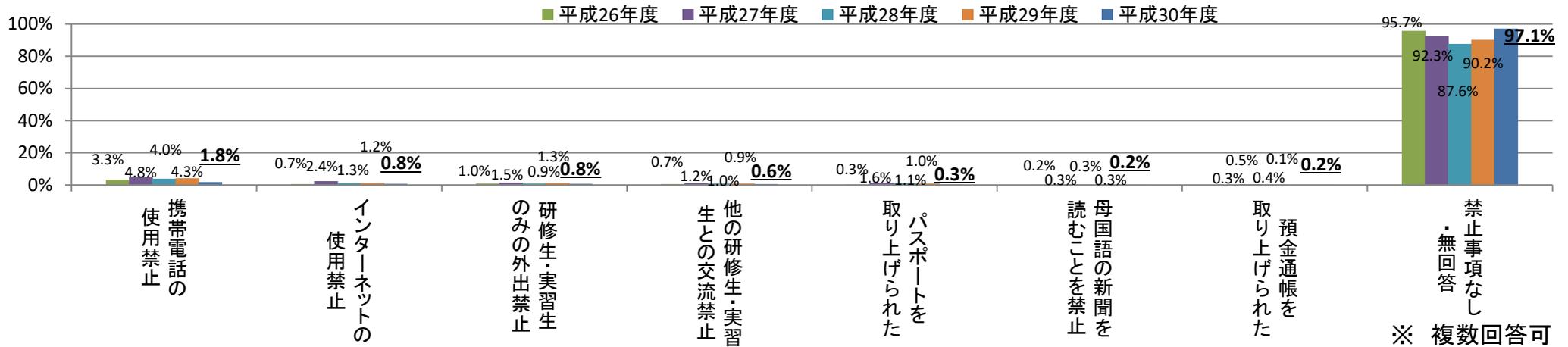


※保証金等とは、技能実習生本人または親族などから送出機関や監理団体に預ける金品、不動産などを指し、実習生本人が失踪した場合等にそれら機関に対する保障に充てられるもの。なお、日本への渡航費用などの工面のために行う借金のことではない。

# 在留中の問題の有無

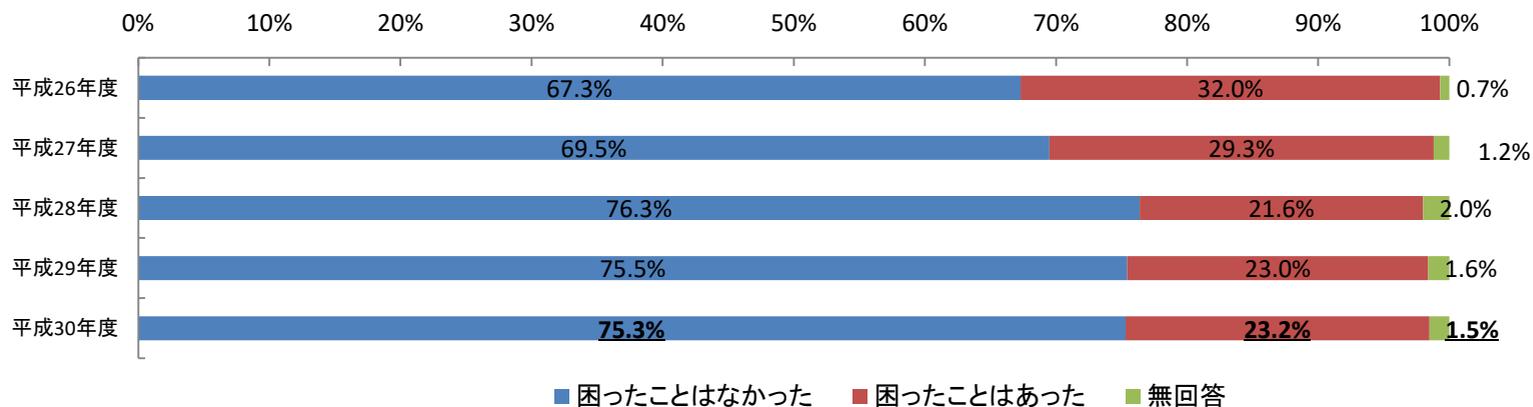
## 実習期間（在留）中の禁止事項

「禁止事項がなかった」との回答（無回答を含む）は97.1%となっている。禁止事項の内容は、「携帯電話の使用禁止」が1.8%で最も多い。

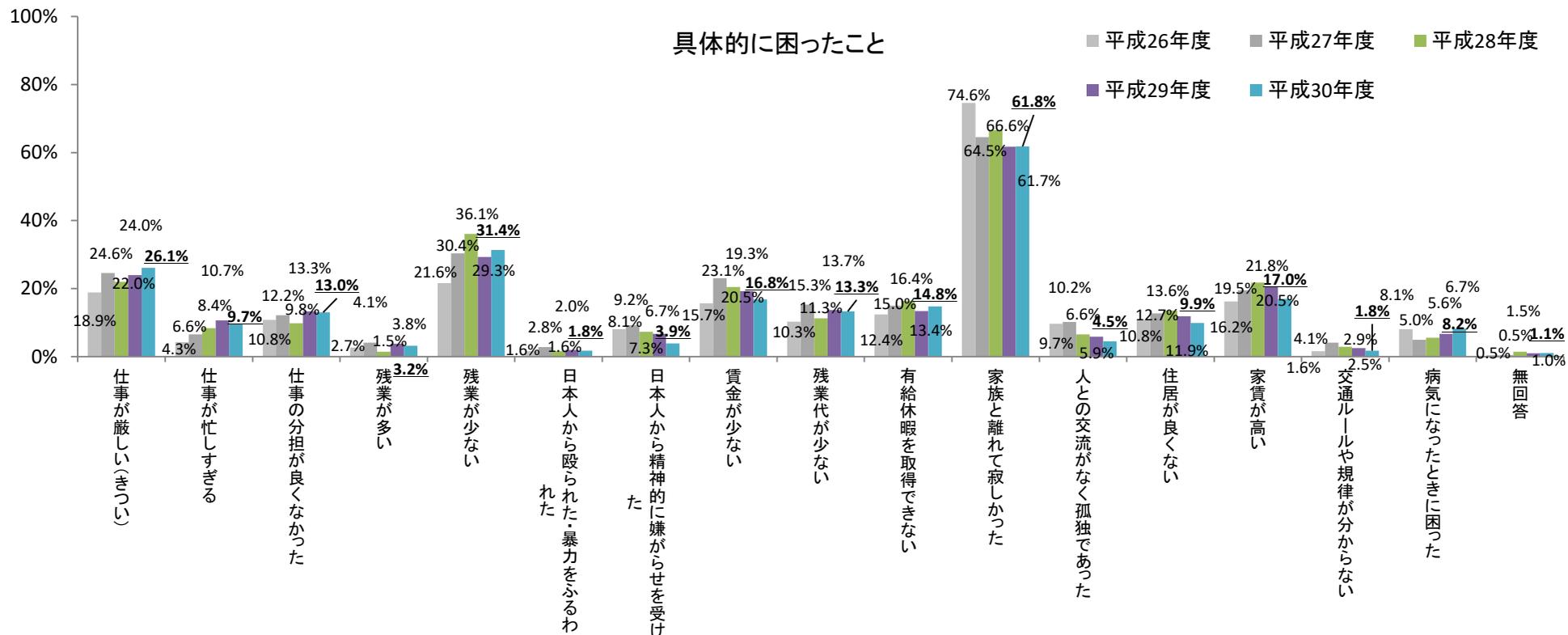


## 実習期間（在留）中に困ったこと

日本在留中にコミュニケーション以外で困ったことがあったかどうかを尋ねたところ、「困ったことはなかった」と回答した人は75.3%となっている。「困ったことはあった」と回答した人の具体的な内容は、「家族と離れて寂しかった」が61.8%で最も多い。



# 在留中の問題



※ 複数回答可

## 自由記述欄(その他の意見)

有効回答した5,257人のうち、783人から意見があった。上記以外の意見の例は以下のとおり。

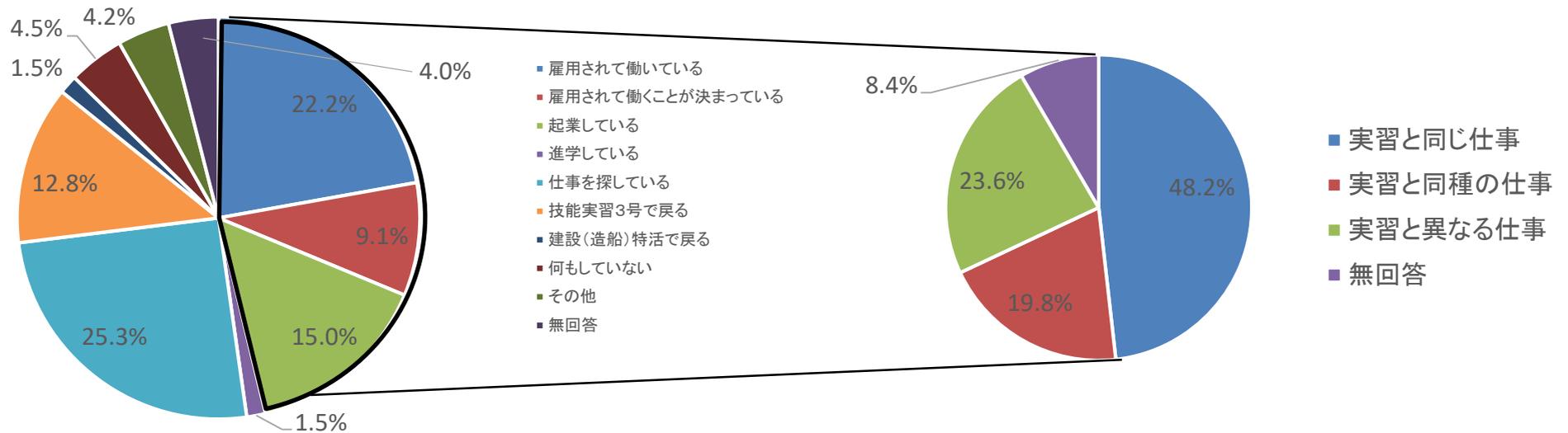
- ・技能実習の機会にとっても感謝している。
- ・また日本で働きたい。
- ・日本は非常に規律正しく快適な国だが、就業中の礼拝への寛容さを得ることが難しい。
- ・技能実習生が日本語習得にもっと力を入れられるようにしてほしい。
- ・日本での生活についての説明がもっと頻繁にあるべき。
- ・実習生のイベントをもっと多く実施してほしい。
- ・日本に到着して間もない時期には、電話、インターネット等に関するサポートがあったほうが良い。
- ・今後、母国の企業でも労働安全面が日本の企業と同等の水準になることを期待する。
- ・社会保険料等の出費が多すぎる。

# 帰国後の就職状況(全体)

## 帰国後の就職状況

帰国後の就職状況について、「雇用されて働いている(22.2%)」「雇用されて働くことが決まっている(9.1%)」または「起業している(15.0%)」と回答した人は、46.2%となっている。

また、「雇用されて働いている」、「雇用されて働くことが決まっている」または「起業している」と回答した者のうち、従事する仕事の内容が「実習と同じ仕事(48.2%)」または「実習と同種の仕事(19.8%)」と回答した人が68.0%となっている。



	平成30年度	(平成29年度)
雇用されて働いている	22.2%	(22.0%)
雇用されて働くことが決まっている	9.1%	(13.7%)
起業している	15.0%	(16.3%)
<b>上記3つの合計(※1)</b>	<b>46.2%</b>	<b>(52.0%)</b>
進学している	1.5%	(1.7%)
仕事を探している	25.3%	(29.8%)
技能実習3号で戻る(※2)	12.8%	(—)
建設(造船)特定活動で戻る(※2)	1.5%	(—)
何もしていない	4.5%	(4.7%)
その他	4.2%	(5.3%)
無回答	4.0%	(6.5%)

	平成30年度	(平成29年度)
実習と同じ仕事	48.2%	(49.9%)
実習と同種の仕事	19.8%	(19.8%)
<b>上記2つの合計(※1)</b>	<b>68.0%</b>	<b>(69.7%)</b>
実習と異なる仕事	23.6%	(22.4%)
無回答	8.4%	(7.8%)

(※1) 四捨五入の関係で値が完全に一致しない場合がある。

(※2) 「技能実習3号で戻る」及び「建設(造船)特定活動で戻る」は平成30年度から選択肢に追加。

建設(造船)特定活動とは、建設(造船)分野の外国人材受入れのための緊急かつ時限的措置に係る在留資格。

# 帰国後の就職状況(職種別)

	農業	漁業	建設	食料品製造	繊維・衣服 (縫製)	機械・ 金属製品製造	溶接	プラスチック 成形(強化プラス チック成形含む)	その他	
	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	平成30年度 (平成29年度)	
帰国後の 就職状況	雇用されて働いている	22.5% (18.8%)	27.3% (22.1%)	13.0% (13.9%)	23.7% (28.9%)	38.7% (38.7%)	20.2% (18.0%)	19.2% (14.9%)	27.7% (29.4%)	19.5% (19.7%)
	雇用されて働くことが 決まっている	7.8% (9.7%)	6.4% (7.4%)	6.9% (12.2%)	7.6% (10.4%)	13.7% (16.0%)	9.6% (15.8%)	10.2% (14.4%)	7.4% (15.5%)	9.7% (12.1%)
	起業している	18.3% (21.1%)	13.6% (14.7%)	17.4% (23.7%)	12.4% (18.6%)	13.0% (10.2%)	14.6% (14.6%)	16.3% (17.8%)	12.3% (11.7%)	15.6% (14.0%)
	<b>上記3つの合計(※1)</b>	<b>48.5% (49.6%)</b>	<b>47.3% (44.2%)</b>	<b>37.4% (49.8%)</b>	<b>43.8% (57.9%)</b>	<b>65.4% (64.9%)</b>	<b>44.4% (48.4%)</b>	<b>45.7% (47.0%)</b>	<b>47.4% (56.6%)</b>	<b>44.8% (45.8%)</b>
	進学している	1.8% (0.8%)	2.7% (1.1%)	1.2% (2.1%)	1.7% (1.4%)	0.6% (0.6%)	1.7% (2.2%)	1.2% (2.0%)	1.4% (0.7%)	1.7% (2.7%)
	仕事を探している	24.5% (31.1%)	20.0% (32.6%)	22.6% (29.8%)	23.2% (27.3%)	15.2% (21.3%)	30.2% (31.8%)	26.5% (31.9%)	27.9% (29.4%)	28.5% (36.9%)
	技能実習3号で戻る(※2)	9.3% (—)	18.2% (—)	18.8% (—)	12.7% (—)	10.9% (—)	12.7% (—)	11.9% (—)	12.6% (—)	9.5% (—)
	建設(造船)特定活動 で戻る(※2)	0.3% (—)	0.9% (—)	6.8% (—)	0.0% (—)	0.0% (—)	0.3% (—)	4.0% (—)	0.0% (—)	0.2% (—)
	何もしていない	8.0% (5.7%)	4.5% (13.7%)	3.5% (3.5%)	5.6% (3.5%)	4.3% (7.3%)	4.1% (5.3%)	2.9% (2.8%)	4.4% (3.0%)	5.3% (5.1%)
	その他	5.5% (8.1%)	1.8% (4.2%)	5.4% (7.9%)	4.1% (5.0%)	2.6% (3.1%)	4.3% (5.6%)	3.5% (5.0%)	3.7% (3.0%)	5.3% (4.9%)
無回答	2.3% (4.7%)	4.5% (4.2%)	4.3% (6.9%)	8.9% (4.9%)	0.9% (2.8%)	2.3% (6.7%)	4.4% (11.2%)	2.6% (7.2%)	4.7% (4.6%)	
仕事の 内容	実習と同じ仕事	47.4% (42.1%)	42.3% (38.1%)	37.5% (40.3%)	41.5% (42.2%)	65.8% (72.6%)	48.4% (45.8%)	50.0% (46.4%)	51.5% (55.5%)	41.5% (55.9%)
	実習と同種の仕事	21.6% (19.5%)	34.6% (33.3%)	17.8% (19.4%)	25.5% (28.8%)	20.4% (11.2%)	16.1% (21.6%)	23.1% (20.4%)	13.2% (16.7%)	18.9% (14.7%)
	<b>上記2つの合計(※1)</b>	<b>69.1% (61.6%)</b>	<b>76.9% (71.4%)</b>	<b>55.3% (59.7%)</b>	<b>67.0% (71.0%)</b>	<b>86.2% (83.8%)</b>	<b>64.4% (67.4%)</b>	<b>73.1% (66.8%)</b>	<b>64.7% (72.2%)</b>	<b>60.4% (70.6%)</b>
	実習と異なる仕事	24.7% (32.1%)	17.3% (21.4%)	33.8% (29.1%)	25.2% (23.0%)	8.6% (9.8%)	25.8% (24.2%)	21.8% (24.4%)	27.9% (21.6%)	25.9% (21.2%)
	無回答	6.2% (6.3%)	5.8% (7.1%)	10.9% (11.2%)	7.8% (6.1%)	5.2% (6.4%)	9.7% (8.5%)	5.0% (8.8%)	7.4% (6.2%)	13.7% (8.2%)

(※1) 四捨五入の関係で値が完全に一致しない場合がある。 (※2) 「技能実習3号で戻る」及び「建設(造船)特定活動で戻る」は平成30年度から選択肢に追加。建設(造船)特定活動とは、建設(造船)分野の外国人材受入れのための緊急かつ時限的措置に係る在留資格。